

授業科目名・形態	地域福祉論 I	講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	菊地 まゆみ・加藤 静		実務経験の有無	有	開講期	2年後期

【授業の主題】

地域福祉の基本的な考え方を理論だけでなく事例を通じて地域福祉の実践を学びながら、地域福祉の主体と対象について理解する。また、地域福祉が私たちにとって身近なものであることや、地域福祉を推進する組織、団体及び専門職の役割と実際について理解し、地域に目を向けたより具体的な地域福祉活動に対する理解を深める。

【到達目標】

- 1) 地域福祉の基本的な考え方(人権尊重、権利擁護、自立支援、地域生活支援、地域移行、社会的包摂等)について理解する。
- 2) 地域福祉の主体と対象について理解する。

【授業計画・内容】 *菊池が第 4.15 回以外の 13 回を担当し、第 4、15 回を加藤が担当する。

- 第 1 回 新しい社会福祉システム (菊池まゆみ)
- 第 2 回 地域福祉の基本的な考え方 (菊池まゆみ)
- 第 3 回 地域福祉の主体と福祉教育 (菊池まゆみ)
- 第 4 回 行政組織と民間組織の役割と実際 (加藤静)
- 第 5 回 コミュニティソーシャルワークと専門職の役割 (菊池まゆみ)
- 第 6 回 住民の参加と方法 (菊池まゆみ)
- 第 7 回 ソーシャルサポートネットワーク (菊池まゆみ)
- 第 8 回 地域における社会資源の活用・調整・開発 (菊池まゆみ)
- 第 9 回 地域における福祉ニーズの把握方法と実際 (菊池まゆみ)
- 第 10 回 地域トータルケアシステムの構築と実際 (菊池まゆみ)
- 第 11 回 地域における福祉サービスの評価方法と実際 (菊池まゆみ)
- 第 12 回 災害支援と地域福祉 (菊池まゆみ)
- 第 13 回 日本の地域福祉に影響を与えた海外の考え方 (菊池まゆみ)
- 第 14 回 まとめ① (菊池まゆみ)
- 第 15 回 まとめ② (加藤静)

【授業実施方法】 基本的には講義形式で行う。

【授業準備】 関連する科目の講義内容で学んだ制度を再確認しておくこと。

【主な関連する科目】「福祉行財政と福祉計画」「社会保障論 I」「社会福祉概論 I」「高齢者福祉論 I・II」

【教科書等】 社会福祉士養成講座編集委員会編「地域福祉の理論と方法第 3 版」中央法規出版

【参考文献】 必要に応じて紹介する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

社会福祉協議会で在宅福祉相談員、主任介護支援専門員、社会福祉士、精神保健福祉士、事務局長として、社会福祉事業の企画・実施や住民の主体的な活躍を支援してきた。

実務経験から得た住民主体の地域福祉推進の重要性や地域住民との信頼関係の構築を基盤として、知識を深め、幅広い考え方を習得する。

地域福祉の現場の実践例を織り交ぜ、地域で暮らすということを考えさせる機会を増やしたい。

【成績評価方法】 筆記試験 80%、課題提出 10%、授業態度等 10%により総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

地域福祉は、生活の場である地域の問題へのアプローチに関連します。日頃から地域活動へ関心を持つとともに毎回の出席を心がけてください。